

# 第32回全日本学生ライフセービング選手権大会

## 学生

### チーム参加募集要項

### チーム1次要項

2017年7月吉日

第32回全日本学生ライフセービング選手権大会  
実行委員会

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は当協会事業に対して格別なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度「第32回全日本学生ライフセービング選手権大会」を開催するにあたり、要項等の資料をお送り致します。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

敬具

#### 記

- ▼日 程 : 2017年9月23日(土・祝)～24日(日)
- ▼場 所 : 御宿中央海岸(千葉県御宿町)
- ▼主 催 : 特定非営利活動法人 日本ライフセービング協会
- ▼後 援 : 国土交通省、スポーツ庁、消防庁、海上保安庁、千葉県、千葉県教育委員会、  
(予定) 御宿町、御宿町教育委員会、公益財団法人 ちば国際コンベンションビューロー
- ▼協 賛 : 調整中
- ▼協 力 : 勝浦海上保安署、一般社団法人御宿町観光協会、有限会社吉田三郎商店、  
(予定) 国際武道大学トレーナーチーム、特定非営利活動法人九十九里ライフセービングクラブ、  
御宿ライフセービングクラブ

#### ■競技種目

【個人種目】種目名末尾の《》内の数字は、各チームの最大エントリー人数を表します。

- |    |               |      |
|----|---------------|------|
| 01 | サーフレース(女子)    | 《4名》 |
| 02 | サーフレース(男子)    | 《4名》 |
| 03 | サーフスキーレース(女子) | 《2名》 |
| 04 | サーフスキーレース(男子) | 《2名》 |
| 05 | オーシャンウーマン     | 《2名》 |
| 06 | オーシャンマン       | 《2名》 |
| 07 | ビーチフラッグス(女子)  | 《2名》 |
| 08 | ビーチフラッグス(男子)  | 《2名》 |
| 09 | ビーチスプリント(女子)  | 《2名》 |
| 10 | ビーチスプリント(男子)  | 《2名》 |
- ※ ビーチフラッグス…「大会参加規程 10. 競技規則」参照

【チーム種目】種目名末尾の<>内の数字は、種目毎の競技者数を表します。各チーム1組とします。

- |    |                    |      |
|----|--------------------|------|
| 11 | レスキューチューブレスキュー(女子) | <4名> |
| 12 | レスキューチューブレスキュー(男子) | <4名> |
| 13 | ボードリレー(女子)         | <3名> |
| 14 | ボードリレー(男子)         | <3名> |

15	ボードレスキュー（女子）	<2名>
16	ボードレスキュー（男子）	<2名>
17	オーシャンウーマンリレー	<4名>
18	オーシャンマンリレー	<4名>
19	ビーチリレー（女子）※	<4名>
20	ビーチリレー（男子）※	<4名>
	※ ビーチリレー	

「選抜チーム」として、準決勝で敗退した4校から1名ずつ選手を選出し、選抜チームを作ります。例えば準決勝が2組(ヒート)あった場合、それぞれ5.6位に入ったチームから選出します。この選抜チームにおいては表彰や得点は入りません。

**【特別種目】** 種目名末尾の<>内の数字は、種目毎の競技者数を表します。各チーム1組とします。

21	1km×3 ビーチリレー（女子）	<3名>
22	1km×3 ビーチリレー（男子）	<3名>
23	BLS アセスメント（女子）	<各チーム2名抽選>
24	BLS アセスメント（男子）	<各チーム2名抽選>
	※ BLS アセスメント	

必須参加とし、各チーム登録競技者の中から2名を抽選で選出します。詳細につきましては2次要項でお知らせいたします。この種目については、表彰いたしません。

## ■タイムテーブル

エントリー締め切り後、2次要項とホームページにて掲載いたします。

## ■予備日

今大会において「予備日」等は設けません。

## ■得点と表彰

各種目上位1~8位を入賞とします。さらに、1~3位にはメダルを授与し表彰式で表彰します。また、チーム総合得点により、上位1~8位を入賞とし、1~3位までのチームには表彰式で表彰します。総合1位のチームには「日本ライフセービング協会理事長杯」(女子・男子)を授与いたします。決勝の結果に対して得点を加算し、個人、チーム、特別種目とも同じ得点とします(BLSアセスメントについては別途規定を設けます)。同種目に同じチームの競技者が入賞した場合も、以下の通り得点が加算されます。配点は以下の通りです。総合順位は、実施種目の70%以上の最終競技結果をもって成立するものとします。

得点

1位-8点、2位-7点、3位-6点、4位-5点、5位-4点、6位-3点、7位-2点、8位-1点

①チームの総合得点が同点の場合は1位の種目の多いチームを、1位の種目が同数の場合は2位の種目の多いチームを…というように総合順位を決定します。

②決勝で失格の場合は0点とします。

③BLSアセスメント詳細については、2次要項でお知らせします。

## ■参加費

競技者1名につき、7,000円

※振込期限および振込先については、「大会エントリーの手引き」を確認してください。

## ■出場確認および代表者会議

日程：9月22日（金）

出場確認：19時00～19時30分

代表者会議：19時30分～

詳細については2次要項でチーム代表者宛に連絡します。大会直前の重要な情報を伝達し、各種目の最終出場確認をするため、代表者会議は必ず出席してください。

## ■審判員の選出について

参加チームは、下記に応じて認定審判員を選出すること。

① 各チームは、エントリー選手15名以上の場合1名以上の審判員を選出すること。男子チームと女子チームは別であるので、別々に選出のこと。（男女合わせての出場数ではありません）

② 2日間参加できる審判員を選出すること。

③ 選出された審判員は、競技役員1次要項を併せてよく読むこと。

※ 準一般会員の審判の方は宿泊や交通費の支給はございません。なお、選出した審判員が参加できなくなった場合は、必ず代替わりの方を選出してください。

### 【申し込み】

別紙の審判員募集要項を確認の上、「審判員・スタッフ参加申込書」を提出してください。

## ■宿泊について

必ず御宿町観光協会を通して申し込んでください。（別添、申込書）

## ■申込方法

「チーム1次要項」をよく読み、学校（男女チーム）別で申し込んでください。提出物は書類だけでなくデータファイル等もあります。提出物によって締切り日が異なります。詳細については「大会エントリーの手引き」で確認した上、記入漏れ・記入ミスのないように十分ご注意ください。

※ 必ず、在籍している学校名で申し込みをしてください。

## ■その他

同意書について昨年と大きく変更しています。チーム代表者は、チームメンバーとともに同意書をよく読み署名と捺印をしてください。

■ 申込締め切りと提出物

提出方法提出書類等の概要		提出方法	提出期限(締切)
データ/書類	●チーム/選手エントリーデータ (チームエントリーフォームA・B・C)	メール提出	2017年9月6日(水)24:00 受信分まで
	●チーム写真の画像データ ※大会パンフレット用(jpg,png 等)		
	●チーム紹介動画(各大学2分程度) ※ムービーメーカーで編集		
	●キャップ申請書 ※新規/変更 (チームエントリーフォームキャップ申請書)		
	●同意書 (チームエントリーフォームD)	郵送提出	2017年9月6日(水)当日消印有効
	●競技者カード (チームエントリーフォームE)		
●チーム紹介 (チームエントリーフォームF)			
振込	●大会参加費の振込	「大会エントリーの手引き」、参加費の振込をご参照	2017年9月6日(水)当日消印有効
	●選手の個人年会費 (2017年度 正会員 or 一般会員)	<a href="http://www.jla.gr.jp/home.htm">http://www.jla.gr.jp/home.htm</a>	
	●チームの団体年会費 (2017年度 正会員 or 一般会員)	「会員になるには」をご参照の上、手続き下さい	
注)	※ 締め切りを過ぎたものや書類の不備、上記の提出書類が揃っていない場合は、受け付けませんので、ご了承ください。 ※ 参加規程を満たしていない場合、参加費の未納等により、大会参加を受け付けない場合がありますのでご注意ください。 ※ 参加申し込み締め切り日までに、会員登録および会費納入の手続きをされていない団体・個人会員の方は、本大会に出場できませんので、予めご了承下さい。		

特定非営利活動法人 日本ライフセービング協会  
 〒105-0013 東京都港区浜松町2-1-18 トップスビル1F  
 TEL : 03 (3459) 1445 / FAX : 03 (3459) 1446

# 第 32 回全日本学生ライフセービング選手権大会 大会参加規程

## 1. 参加資格

競技者の参加資格は下記の 5 点を共に満たしている者、若しくは本協会が特別に参加を認めた者でなければならない。

- 1-1 大会当日の年齢が 18 歳以上であること（ただし高校生を除く）。
- 1-2 ライフセービングを志し、出場する競技会の過去 1 年以内に海岸やプール等水辺の監視・救助活動、協会が認める教育活動に 25 時間以上従事した学生であること。
- 1-3 本協会の団体正会員・団体一般会員に所属かつ個人正会員または個人一般会員として登録している学生であること。
- 1-4 チーム参加の場合、参加チームの大学または専門学校に在籍し、その所属する大学および専門学校が協会に登録されていること。
- 1-5 1-4 に該当しない学生で、個人正会員または個人一般会員として登録している者で、大学および専門学校にライフセービング部がない学生は、個人種目のみ参加を認める（ただし、チームキャップの登録は必要なので事前に確認すること）。
- 1-6 競技者は、ベーシックサーフライフセーバー以上の資格を所有していなければならない。  
（別紙「競技会参加規定とライフセービング資格連動の件 一部変更のお知らせ」  
（一部変更）2016 年 2 月 9 日版 を参照）

## 2. チーム構成

- 2-1 出場資格を満たした者で構成し、それぞれの大学又は専門学校に在籍している学生のみで構成されていること。
- 2-2 1 つの学校からの出場チーム数は男女 1 チームずつとする。但し、同じ学校でも校舎が離れている等の事由により別に活動しているクラブがある場合は、その活動状況を審査し、1 学校で 2 チーム以上の出場を認める場合もある。
- 2-3 2-2 においては調査を必要とするため、大会開催 50 日前までに必ず申請をすませる事とする。なお、期限を過ぎたときは今回の大会には起用しない。
- 2-4 本大会のチーム構成は、男子チーム・女子チームとする。男女混合のチームとして参加は認められない。

## 3. 競技者登録

- 3-1 1 つのチームからの登録競技者数は、最大 31 名までとする。
- 3-2 個人種目の登録については規定の参加競技者数を必ず守ること。チーム種目、特別種目については各学校の規定登録競技者の中から選出するものとする。

## 4. チーム代表者

各参加チームはチームを代表する者としてチーム代表者を 1 名おくこと。なお、チーム代表者と競技者はこれを兼任することができる。

## 5. チームユニフォーム及び競技中の衣類

- 5-1 各チームは、式典や表彰式および競技に適したユニフォーム、水着、キャップ、ラッシュガードを持たなければならない。
- 5-2 ユニフォーム、水着、キャップの性質、ラッシュガード、デザインが一般良識に反すると主催団体が判断した場合は、いかなる競技者も競技に参加することができない。水着については、「水着に関する規程」に準じる。
- 5-3 キャップは、競技会の前に本協会に登録されていなければならない。しかし、すでに登録を済ませ変更がない場合は必要ない。未登録のクラブは大会指定の期限までに「チームキャップ申請書」を届出しない

ければならない。

- 5-4 キャップは、チーム全員が同様の色とパターンでなければならない。
- 5-5 チームのユニフォーム、水着、キャップ、ラッシュガードに競技会のスポンサーと対立するような商標、商標名があると主催団体が判断した場合、その対応は主催団体の指示に従わなければならない。
- 5-5 サーフ種目に出場する競技者は JLA から指定されているラッシュベストを着用すること。
- 5-6 大会主催者が、競技中に衣類（ビブス等）の着用を求める場合がある。

## **6. 競技者の変更**

何らかの理由により、個人種目にエントリーしている競技者が大会に出場できなくなった場合は、指定された用紙に必要事項を記載し、既に登録されている競技者の中から選出すること。選手変更については、出場確認時に行うこと。

## **7. 参加費**

- 7-1 参加費は、出場する種目数にかかわらず 1 名につき 7,000 円とする。
- 7-2 参加費は参加申込締め切り日までに、所定の金融機関口座に納入（振込）しなければならない。
- 7-3 天候その他の理由により、大会の日程変更や、やむを得ず中止になった場合でも参加費は返還されない。
- 7-4 参加競技者の欠場や、失格となった場合でも参加費は返還されない。

## **8. 競技器材**

- 8-1 競技で使用する器材は「ライフセービング競技規則（2016 年版）」の「競技器材の規格」の基準を満たさなければならない。
- 8-2 オーシャン競技で使用するレスキューチューブは、主催団体が用意するものとする。
- 8-3 競技役員は必要に応じて競技器材が規定にあっているかの検査をすることがある。
- 8-4 特別種目「1 km×3 ビーチリレー」で使用する『たすき』については、代表者会議で承認を得ること。

## **9. 代表者会議**

大会開催に先立って代表者会議を実施するので、チーム代表者は必ず出席をすること。なお、やむを得ずチーム代表者が出席できない場合は、参加競技者で代表者に準ずる者が必ず出席をすること。

## **10. 競技規則**

- 10-1 この他の競技規則は、「ライフセービング競技規則（2016 年版）」に則って実施する。ただし、ビーチフラッグス(予選)については、最大 3 名の除外とする。
- 10-2 気象、海象等の自然状況の変化により競技者や競技役員の安全確保が困難と判断した場合は、コースや距離の変更、出場の制限、競技の中止をすることがある。
- 10-3 泳力等の不足や傷病等により競技の続行が危険と判断した場合は、対象競技者の競技を中断することがある。

## **11. 特別種目における競技ルール**

- 11-1 BLS アセスメント
  - ①本競技会に出場する全てのチームは、必ず参加しなければならない。
  - ②抽選により選出者を大会当日発表する（各チーム 2 名）。
  - ③詳細については 2 次要項および代表者会議等で説明する。
- 11-2 1 km×3 ビーチリレー
  - (1) 競技人数  
競技者 3 名

- (2) 使用器材  
たすき  
「たすき」は布製で長さ 1m60 cmから 1m80 cm、幅 6 cmを標準とする。
- (3) 1 レースの最大競技者数  
40 名
- (4) コース  
2km (1km) ビーチランに準じる。
- (5) 競技の方法
- ① 靴の着用は競技中の安全を考慮し、使用可能とする。
  - ② スターターの合図により競技者はスタートし、所定の 1 kmのコースを走り、たすきをチェンジオーバーゾーン内 (20m) で次の競技者に手渡す。同様のコースを計 3 名でリレーをし、第 3 競技者がゴールした順に着順を決定する。
  - ③ 競技者の交代 (チェンジオーバー) は、次の競技者に「たすき」を手渡すことにより行なわれる。
  - ④ 「たすき」を受け取る競技者の足の全ては、チェンジオーバーラインの上またはチェンジオーバーゾーン内になければならない。
  - ⑤ 「たすき」を受け取るために、足以外の身体の一部がチェンジオーバーラインの外に出てもよい。
  - ⑥ 競技中に他の競技者を故意に妨害してはならない。
  - ⑦ 「たすき」は必ず肩から脇の下に掛けなければならない。
  - ⑧ 共通競技規則およびオーシャン競技総則については、他の種目同様とする。

## **12. その他**

- 12-1 大会中に大会主催者および、大会主催者が認めた者が撮影した写真、映像をライフセービングの広報の目的で使用することがある。
- 12-2 大会中に大会主催者が撮影を制限したり、拒否したりすることがある。
- 12-3 大会を撮影した写真やビデオについては、主催者側が提示を求めた場合速やかに提示しなければならない。
- 12-4 大会主催者への提出書類の記載事項に虚偽が認められた場合、大会への参加や記録が取り消されることがある。
- 12-5 大会中、個人で応急処置のできるものは各自行うこと。各クラブで救急箱や氷等を用意し、ライフセーバーとして自己管理をしっかりと行うようにする。
- 12-6 各チーム 15 名以上のエントリーがある場合は、認定審判員を 1 名以上選出すること。

(以上)